

# 豊島区



日本一の高密都市・豊島区は、  
にぎわいと活気にあふれ、  
人と環境にやさしい  
「四季を感じられるまち」を  
めざします



現在の豊島区駒込地域発祥が伝えられる「ソメイヨシノ」



低層部(1~9階)が新庁舎

日本一人口密度の高い豊島区。街の活力を維持しながら、環境への負荷を最大限減らす都市として、環境基本計画の見直しを行いました。  
公害対策、リサイクル対策、環境教育に加え、地球温暖化対策や生物多様性の保全という新しい課題に対応し、人と環境にやさしい「四季を感じられるまち」をめざします。平成27年春には、新庁舎が完成。屋上庭園やテラスに「豊島の森」を再現し、環境体験学習の場として

## まち全体を緑に 「グリーンとしま」再生プロジェクト

平成21年度の「学校の森」植樹から始まった「グリーンとしま」再生プロジェクト。向こう三軒両隣方式の「界わい緑化事業」による緑を介したコミュニティの形成、池袋西口駅前広場のシンボルとして平成22年に設置されたモザイカルチャーの維持管理、緑のカーテンづくりなどを地域とともに推進し、街ぐるみで緑化の機運を高めています。



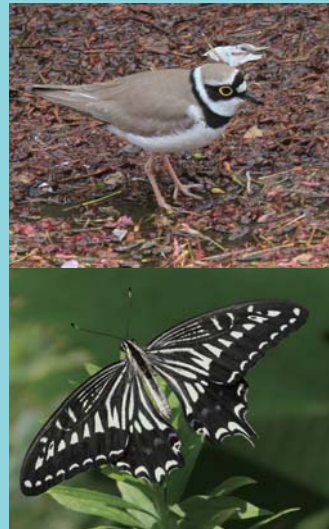
「いのちの森」植樹活動



池袋西口駅前広場のモザイカルチャー

## 生きものの住めるとしまへ 生物多様性の保全と 普及啓発の推進

地球上のすべての生きものはひとつひとつに個性があり、互いに支え合って生きています。このような生きものたちの豊かな個性とつながりのことを、生物多様性といいます。豊島区では、生物多様性の認知と理解、行動を応援する国の広報組織「生物多様性キャラクター応援団」の団員として、区の広報キャラクター・ななまるを登録。身近な自然にふれる講座やイベントなどを通じて、楽しみながら生物多様性の大切さを知ってもらう取組みを進めています。



区内に生息するコチドリとナミアゲハ  
写真提供 (株)生態計画研究所



区立中央図書館で生物多様性に  
関する図書を紹介